



村に駐在する農研機構の万福裕造さんが現状を解説

「飯樋4区連絡協議会」が、宿泊体験館きこりで、農業勉強会を行いました。この勉強会は、営農再開に向けた課題やこれからの村づくりについて共に考えようというもの。村の復興対策課を招いて現状を聞き、参加者が意見を交換しました。「村民のつながりこそ、最も重要な復興の形」「暗い話ばかりじゃなく、できることをやっていこう」など前向きな発言が多く聞かれました。



今後の取り組みについて、参加者が意見を交換

飯樋4区  
連絡協議会

8/4

7/29

伊達東応急  
仮設住宅



ライブで夏祭りを盛り上げるハラハラシンガーズ



「あっち」「そっち」と指示がとぶスイカ割り



2校合同の演奏。見事な太鼓に住民も拍手喝采！

松川第一  
応急仮設住宅

8/5

7/30

飯館村  
相馬流れ山  
保存会



集団による鮮やかな演舞で野馬追を盛り上げました



演奏後は住民の手を取り言葉をかけてくれました

宮城県で行われた高校生の文化の祭典「みやぎ総文2017」に参加していた日本福祉大学付属高校（愛知県）と京都橘高校（京都府）の和太鼓部が仮設住宅を訪れました。部員の皆さんは、集会所前の広場で、若さあふれる勇壮な演奏を披露し、感動いっぱいの住民たちと触れ合いました。また、演奏後には、集会所で菅野村長から話を聞き、被災地の現状を学んでいました。

「飯館村相馬流れ山保存会」が、南相馬市の夏の風物詩「相馬野馬追」の会場で、12年ぶりに踊りを披露しました。会員は、「南相馬市相馬流れ山保存会」と合同で練習を重ね、この日に臨みました。相馬地方伝統の祭りを見学する大勢の観客の前での披露。「久しぶりで緊張する」と話していた人もありましたが、無事に披露を終えて、笑顔を見せていました。



練習の成果を披露して晴れやかな笑顔の参加者たち